

国語 五十一	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味  
を選び、線で結びましょう。

- ① 話を聞きながらあいづちをうつ。
- ② 草原であおむけに寝た。
- ③ 考えに考えたあげく、行くのをやめた。
- ④ あつかましいにもほどがある。
- ⑤ あななどと大変なことになる。
- 相手をも下にもみる。
- 相手の話に調子を合わせ、うなづく。
- ずうずうしい。
- 上を向いた状態。
- 結局。
-

国語 五十二	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① デパートで先生とはちあわせ  
した。

はらをたてる。おこる。

② 短距離走は紙一重たんきよりそうの差で勝つ  
た。

おおぜいの人や物事がぎっしり  
ならんだり、つづいたりしている  
ようす。

③ 行事が目白押しだ。

ほんのわずかなちがい。

④ うちの母はでしゃばりだ。

自分に関係のないことにまで口  
を出したり、出て行ったりするこ  
と。また、その人。

⑤ 規則をやぶった友達にいきど  
おりを感じた。

思いがけずであうこと。

国語 五十三	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- |                       |   |                          |
|-----------------------|---|--------------------------|
| ① 食べ物がふんだんにある。        | • | ほのかにあらわれるようす。かすかに。       |
| ② 校長先生はしなやかに歩く。       | • | おこってふきげんになる。             |
| ③ 梅の花がほんのりとかおる。       | • | やわらかで、美しい様子。             |
| ④ するどい質問をされて、たじたじになる。 | • | あいてのいきおいに押されて、負けそうになる様子。 |
| ⑤ 弟はちよつとのことですぐむくれる。   | • | 多く。たくさん。豊かに。             |

国語 五十四	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 今日こはるびよりは小春日和だ。  
 ・ 冬のはじめのころのあたたかく  
 ておだやかな天気。

② たわいない話がとても大切な  
 ときもある。  
 ・ 自分とはまったく関係のない、  
 まったくの他人。

③ あの人は赤の他人とは思えな  
 い。  
 ・ くだらない。まとまりがない。

④ 青二才の君にできることでは  
 ない。  
 ・ 夜がまだすっかり明けきららない  
 ころ。

⑤ 台風は明日の未明に関東にせ  
 つきんする。  
 ・ 年がわかくてもものごとになれて  
 いない人。

国語 五一五	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 休日は昼下がりまで昼ねをした。  
何日間も降り続く雨。  
正午を少しすぎたころ。

② 買い物をしていたら、にわか雨がふってきた。  
秋から冬になるころ降ったりやんだりする雨。

③ 時雨もよう  
急に降り出してすぐにやむ雨。

④ 秋の長雨  
六月ころに降り続く雨。つゆ。

⑤ 五月雨

国語 五十六	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- |                     |   |                        |
|---------------------|---|------------------------|
| ① あいてのいきおいにひるむ。     | • | いきおいがくじける。おじける。        |
| ② 今日はたてつづけにテストがあつた。 | • | わけも聞かないで、いきなり決めつけること。  |
| ③ この味が一番口に合う。       | • | こんがりやけたような良いかおりがする様子。  |
| ④ パンがこうばしくやきあがる。    | • | 食べ物や飲み物の味がこのみにあう。      |
| ⑤ 頭ごなしにしっかりつける。     | • | 同じようなことが連ぞくしておこなわれること。 |

国語 五十七	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味  
を選び、線で結びましょう。

① うまくいえなくて本当にもど  
かしい。

・  
・  
思うようにならないで、いらい  
らする。はがゆい。じれったい。

② せっかちにうごきまわる。

・  
・  
思い通りになって、満足そうな  
顔つき。

③ 百点を取って得意顔にな  
る。

・  
・  
きみじか  
気短であること。きみじか  
気短な人。

④ いたずらをして何食わぬ顔  
をしている。

・  
・  
何も知らないようなすまし顔。  
そしらぬ顔。

⑤ ずけずけと意見を言う。

・  
・  
えんりよしないで、ものを言う  
様子。

国語 五十八	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
りぐ  
んだ  
ひ  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 友だちの顔色をうかがう。 顔つき。表情。

② ぼくにえんりよするなんて水くさい。 しかる。いましめる。

③ ちこくをたしなめた。 思いがけないようす。いきなり。とつぜん。

④ だしぬけに聞かれてもへんじにこまる。 よそよそしい。

⑤ 畑ちがいの仕事につく。 自分の専門とちがうこと。



国語 五十九	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- ① 仲直りの橋渡しはしわたをした。  
 ② 弟に八つ当たりする。  
 ③ のっぴきなならない用事ができ  
た。  
 ④ 矢つぎ早に質問する。  
 ⑤ 京都までとんぼ返りで行って  
きた。
- 間に入って世話をすること。  
 さげることができない。  
 つぎつぎ。続けざま。  
 目的地に着くとすぐまた、もど  
ること。  
 腹を立てて、だれかれかまわず、  
おこりちらすこと。
-